GENIAC PRIZE 2026

GENIAC-PRIZE
テーマ１社会課題提案書説明会

2026年11月6日

主催 経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry | NEDO | NEDO Challenge

協力 警察庁 | 厚生労働省 | 国土交通省 | 農林水産省

本日のアジェンダ

12:00-12:02　オープニング

12:02-12:10　本説明会趣旨のご説明

12:10-12:30　提案書のご説明

12:30-13:00　QA

提案書のダウンロード

提案書をお手元にご用意のうえ、ご参加ください

下記QRコードからダウンロード可能です

詳細は特設サイトへ ▶ https://geniac-prize.nedo.go.jp/download/PRIZE_prop_template.pptx

本説明会のご案内　質疑応答について

下記QRコードを読み取っていただき、チャットでご質問ください！



ご質問は会の冒頭から受け付けております、匿名での質問も可能です

出欠確認のため、
アンケートのご協力をお願いします

今後の事業設計の参考とさせていただきます
チャットボックスにて送付させていただくURL、
またはQRコードからご回答ください

本日のアジェンダ

12:00-12:02　オープニング

12:02-12:10　本説明会趣旨のご説明

12:10-12:30　提案書のご説明

12:30-13:00　QA

GENIAC PRIZE 2026

GENIAC-PRIZE (NEDO懸賞金活用型プログラム) の概要

「GENIAC-PRIZE」では、NEDO懸賞金活用型プログラム
(NEDO Challenge) の制度を活用し、AIによる解決が望まれるテーマに
即した具体的なニーズに基づくAIシステムを開発・実証・応募いただき、
審査を経て成果に応じた懸賞金を授与します

GENIAC-PRIZEスケジュールのご説明

1次審査

時期
- 12月中旬～1月中旬

内容
- 提出物をみて審査
  1. 提案書
  2. デモ動画

結果
- 通過者が2次審査へ

「課題設定の妥当性」
「技術の優位性」で審査

2次審査

時期
- 1月中旬～2月中旬

内容
- 提案書・デモ動画を審査

結果
- 2月末頃に
  審査結果を発表
- 通過者が最終審査へ

全審査項目を対象に、
提案内容を総合的に評価

最終審査

時期
- 3/29

内容
- ピッチ形式の最終審査を実施

結果
- 3/29の表彰式で決定

全審査項目を対象に、
提案内容を総合的に評価

1提案書、2デモ動画を**11月30日（月）昼12時まで**にご提出
また、締切間近は応募が集中するため、
提出に時間がかかる可能性がございますので、お早めにご提出ください

本説明会の趣旨説明

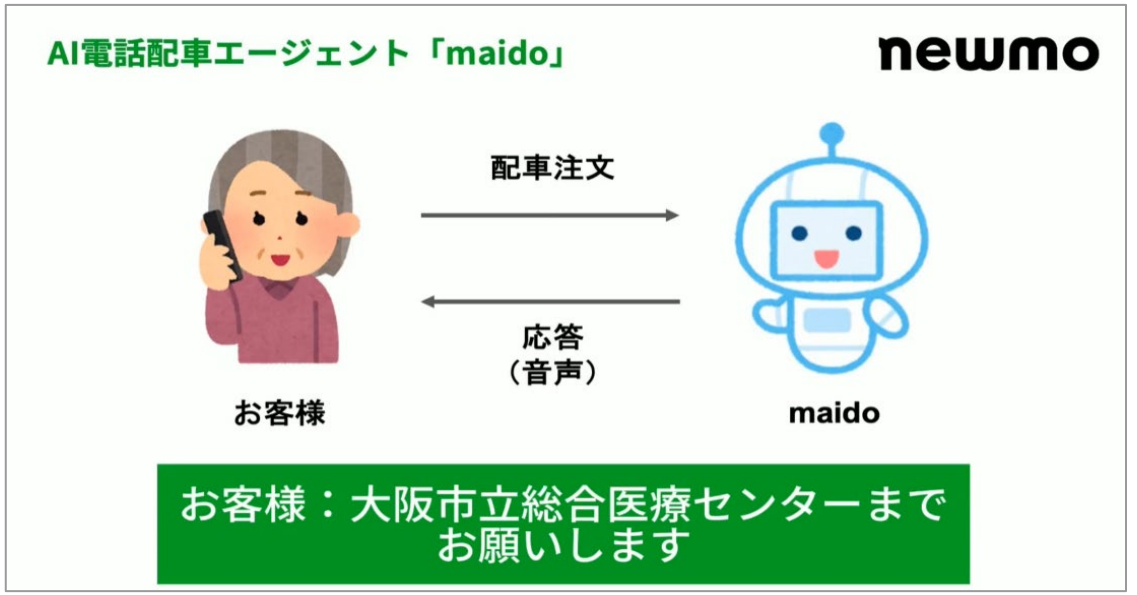
提出いただく1提案書、2デモ動画をもとに1次審査～最終審査を実施するため、
本説明会では審査基準を踏まえた提案書の作成方法・留意事項をご案内します

1 提案書



審査基準との対応と記載方法、
利害関係確認書の留意事項を説明

2 デモ動画



デモ動画に盛り込む内容と
留意事項を説明

審査基準との紐づけ

GENIAC PRIZE 2026

提案書の構成

提案書のページ	記載内容
0. 公開用サマリー	• 会社概要、提案の背景と課題 • アプローチと業務のBefore/After
1. サマリー	• 課題とユースケース • 実証の結果・成果
2. 課題設定	• 目指す姿、課題、着目した理由 • 課題の影響の大きさを数値で示す
3. AIシステムの概要	• アーキテクチャ図で仕組みを示す • 業務プロセス、データ、外部連携、技術
4. 技術の優位性（3頁）	• 技術の有用性・革新性 • 工夫、学習・評価データ、モデル評価
5. 実証成果、導入効果	• 成果、課題・改善点、導入効果 • 未達でも要因と知見は加点要素
6. 業務プロセス改革	• Before/After/効果で変化を示す • 連携・体制、社内定着の取組
7. 国産基盤モデル開発への貢献	• 活用モデル名、選定理由 • 良かった点・改善点・要望
8. 横展開性	• 波及効果、展開の条件・制約 • ビジネスプラン、成果公開の計画

審査基準との紐づけ / 審査範囲

審査項目	1次	2次・最終
課題設定の妥当性	✓	✓
技術の優位性	✓	✓
業務の再設計・導入効果	−	✓
国産基盤モデル開発への貢献	−	✓
ユースケースの波及効果	−	✓

すべて**もれなく作成する**のが極めて重要です！

参考）懸賞広告上に掲載の審査基準

審査項目	審査内容
課題設定の妥当性	人手不足解消や生産性向上に寄与し、当該分野の課題の解決に資する取組か
技術の優位性	• 技術的革新性があり、既存のサービスや競合他社に類似するものがないか • プロトタイプの性能 (回答精度、速度、安定度、ユーザビリティ) が優れているか • ユーザーからのフィードバックを反映する技術的な仕組みが整っているか • 単一のモデルの評価にとどまらず、外部ツールや複数モデルを組み合わせたAIシステムの多段階評価がおこなわれているか
ユースケースの 波及効果	• ユーザーの現状の業務やシステムを分析し、具体的且つ実現可能なユースケースが設定できているか • またユースケース実現のための課題設定が適切であるか • コスト対効果を考慮し、生産性向上等大きなインパクトを与えるか。他企業に参考になり、業界全体に対してインパクトを持つか • 各テーマの取組領域において、優れたモデル事例/失敗事例として他地域や他事業者に横展開可能なユースケースか
業務の再設計・ 導入効果	ユーザーの業務プロセス改革が、効果的且つ継続的に実施できているか • 事業部門・情報システム等関係部門の連携が有機的に行われているか • 課題に直結したユースケースかどうか • 業務構造を理解し、業務プロセスの再設計が適切にできているか • AI開発に関する知識・ノウハウがユーザー内に蓄積され、組織内で有効に活用されているか • システム導入後も継続的な改善が可能な体制や仕組みが構築されているか • 導入インパクトが定量/定性的に示せなかったとしても課題の乗り越え方が明確になっているか
国産基盤モデル開発 への貢献	• 国産基盤モデルの利活用の推進にとって有益なフィードバックがあるか ※本項目は、事務局から国内基盤モデル開発事業者にフィードバックする。その際、情報提示元の応募者名は、応募者の希望があれば匿名とする

本日のアジェンダ

12:00-12:02　オープニング

12:02-12:10　本説明会趣旨のご説明

12:10-12:30　提案書のご説明

12:30-13:00　QA

各ページ作成のTips/留意事項（サマリー）

公開用サマリー



重要ポイント

1. 対外公開される機密情報は書かない
2. 会社概要・背景と課題・アプローチを書く
3. Before/Afterと効果を書く

作成Tips

1. 1枚で提案の全体像が伝わる構成にする
2. 会社概要は事業内容と強みを2～3行に絞る
3. 効果は数値で示す（例：8時間→2時間）

各ページ作成のTips/留意事項（サマリー）

サマリー



重要ポイント

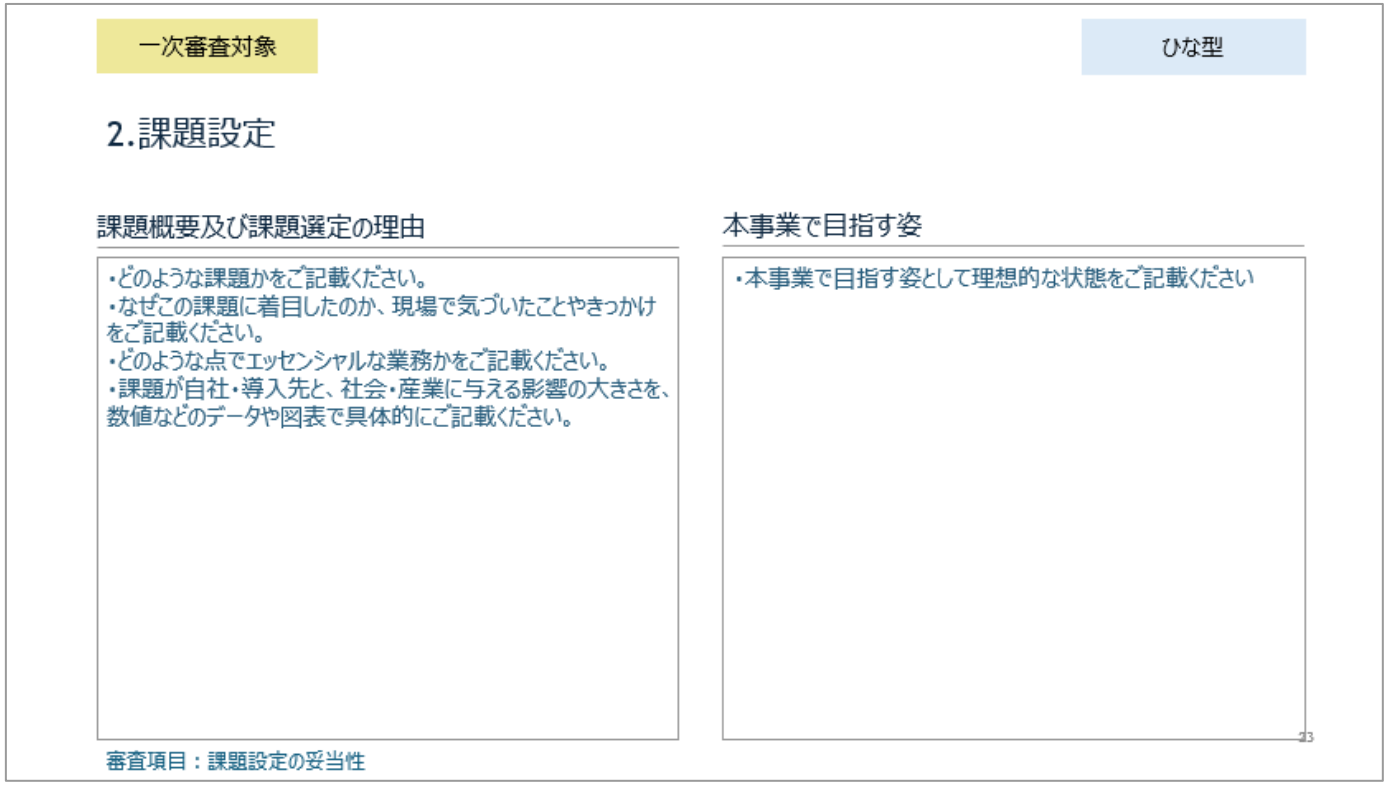
1. 課題・ユースケース・
   実証結果・成果を書く
2. 他ページの内容と食い違わない

作成Tips

1. 課題→ユースケース→結果→成果の順に書く
2. 他ページを書き終えてから、最後にまとめる
3. 専門用語を避け、平易な言葉で書く

各ページ作成のTips/留意事項（課題設定）

課題設定


一次審査対象

ひな型

2.課題設定

課題概要及び課題選定の理由

・どのような課題かをご記載ください。
・なぜこの課題に着目したのか、現場で気づいたことやきっかけをご記載ください。
・どのような点でエッセンシャルな業務かをご記載ください。
・課題が自社・導入先と、社会・産業に与える影響の大きさを、数値などのデータや図表で具体的にご記載ください。

本事業で目指す姿

・本事業で目指す姿として理想的な状態をご記載ください

審査項目：課題設定の妥当性

重要ポイント

1. 審査項目は課題設定の妥当性
2. 課題、着目理由、目指す姿を書く
3. エッセンシャルサービス業に該当する理由を書く
4. 影響の大きさを数値や図表で示す
5. 定量的に記載する

作成Tips

1. 着目した理由は、現場の気づきやきっかけで書く
2. 左の課題と右の目指す姿を対応させて書く
3. 数値には出典と時点を添える

各ページ作成のTips/留意事項（AIシステムの概要）

AIシステムの概要

一次審査対象

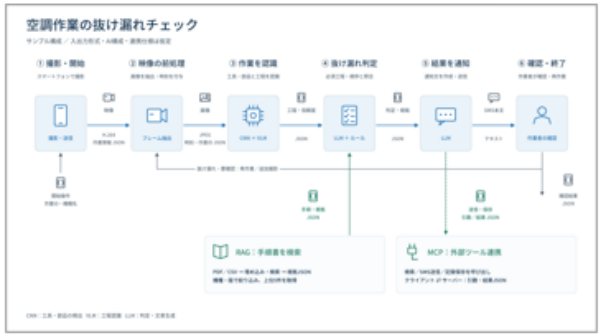
ひな型

3.AIシステムの概要

AIシステムの概要

AIシステムがどのような仕組みで業務を支えているかについて、アーキテクチャ図を作成してください
図には下記内容を含めてください
①業務プロセスの全体像
②業務プロセスごとで用いるデータとデータ形式
③外部連携を行う場合は、どの業務プロセスで、どのような外部連携を行うか
④業務プロセスごとに活用する技術

<記載例>
※あくまで一例を提示するものです



24

審査項目：技術の優位性

重要ポイント

1. アーキテクチャ図で、AIが業務を支える仕組みを示す
2. 全体像と、工程ごとのデータ・形式を含める
3. 外部連携と、活用技術を含める

作成Tips

1. 業務の流れに沿って、左から右へ描く
2. 工程ごとに、使うデータと技術を対応させる
3. 記載例は一例。自社の業務に合わせて描く

各ページ作成のTips/留意事項（技術の優位性）

技術の優位性



重要ポイント

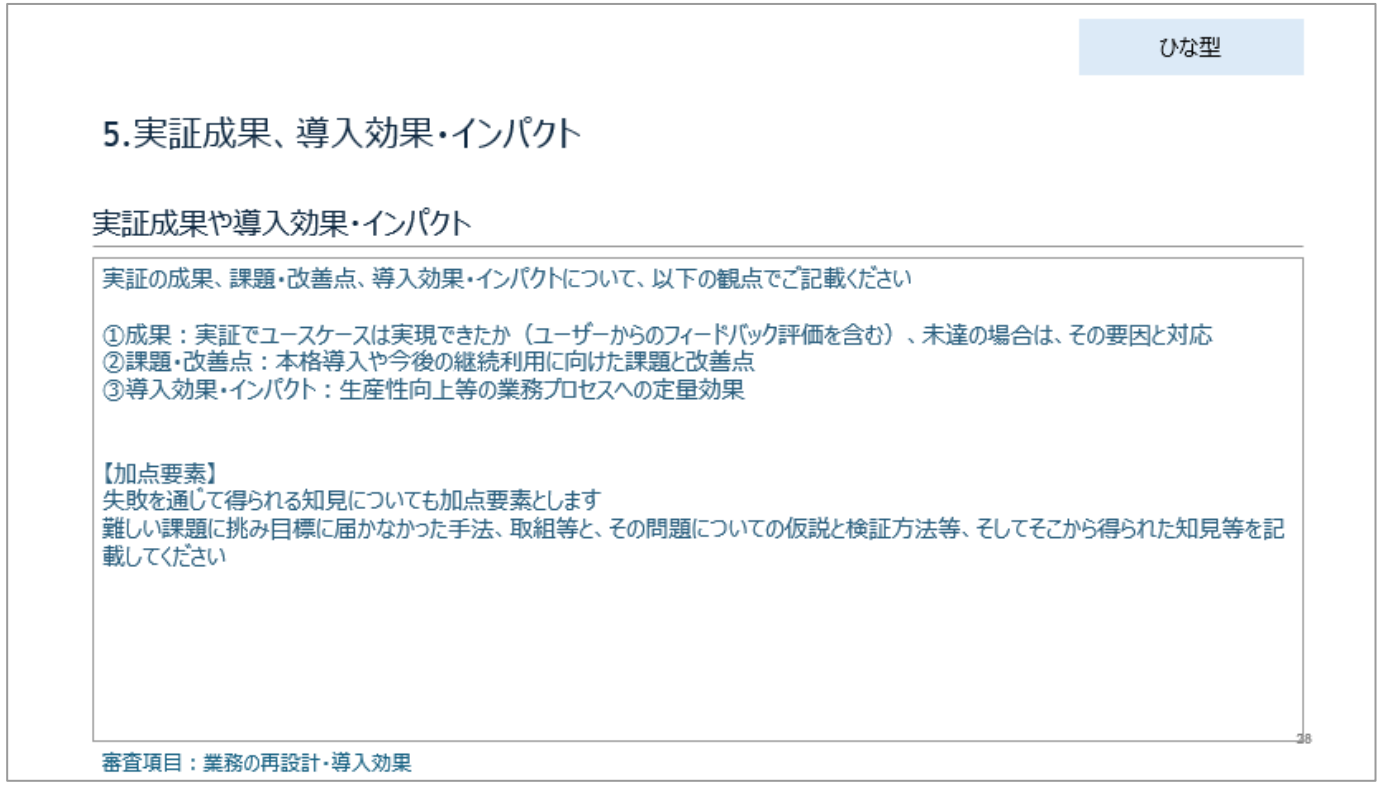
1. 審査項目は技術の優位性
2. 有用性と革新性を、できる限り定量的に書く
3. 工夫、学習・評価データ、モデル評価を書く

作成Tips

1. 有用性は、代替手段と比べた優位性で示す
2. 革新性は、既存技術・競合との違いで示す
3. 記載例は一例。自社の強みに置き換える

各ページ作成のTips/留意事項（実証成果、導入効果・インパクト）

実証成果、導入効果・インパクト


ひな型

5.実証成果、導入効果・インパクト

実証成果や導入効果・インパクト

実証の成果、課題・改善点、導入効果・インパクトについて、以下の観点でご記載ください

①成果：実証でユースケースは実現できたか（ユーザーからのフィードバック評価を含む）、未達の場合は、その要因と対応
②課題・改善点：本格導入や今後の継続利用に向けた課題と改善点
③導入効果・インパクト：生産性向上等の業務プロセスへの定量効果

【加点要素】
失敗を通じて得られる知見についても加点要素とします
難しい課題に挑み目標に届かなかった手法、取組等と、その問題についての仮説と検証方法等、そしてそこから得られた知見等を記載してください

審査項目：業務の再設計・導入効果

重要ポイント

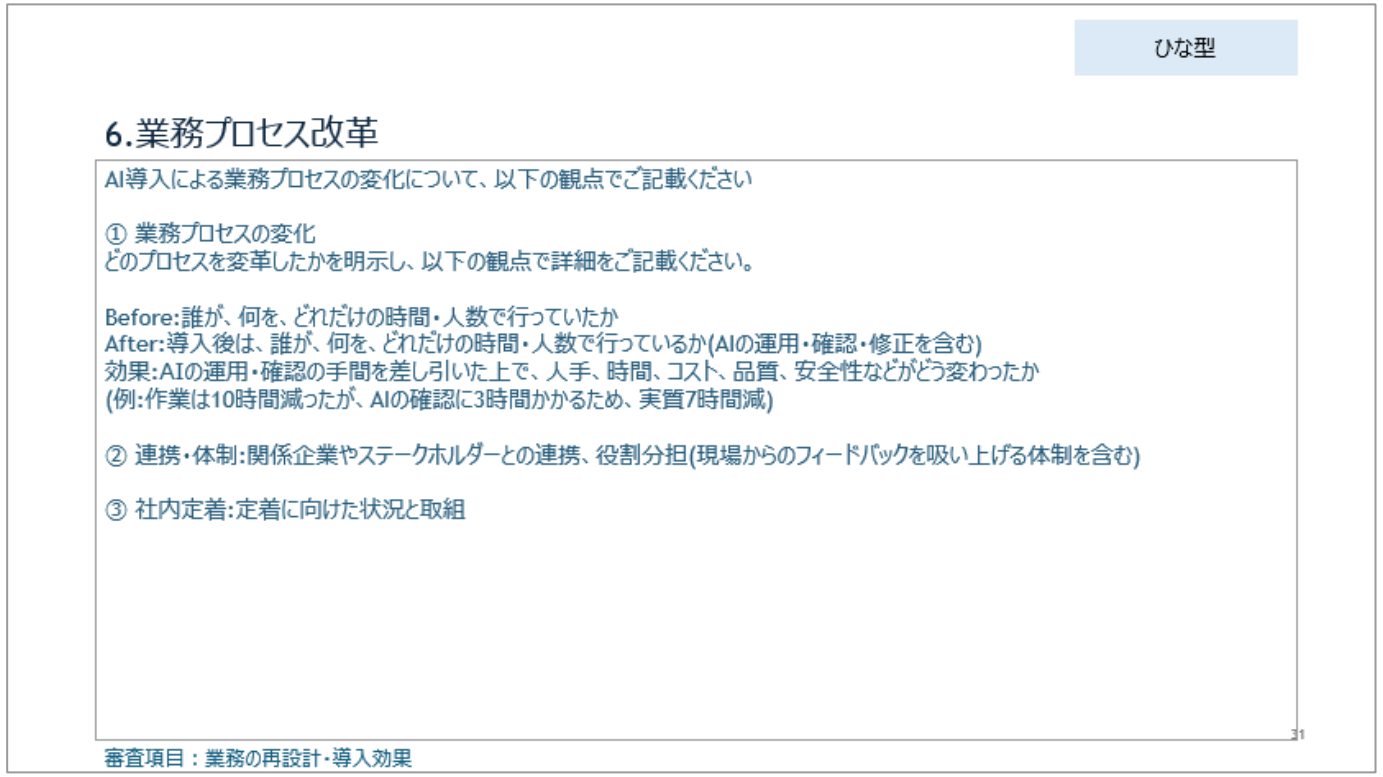
1. 成果・課題と改善点・導入効果の3点を書く
2. 成果には、ユーザーの評価を含める
3. 導入効果は、定量的に示す

作成Tips

1. 未達でも、要因と対応を書けば加点要素になる
2. 課題・改善点は、本格導入に向けて書く
3. 未達の目標は、仮説・検証方法・知見を書く

各ページ作成のTips/留意事項（業務プロセス改革）

業務プロセス改革



重要ポイント

1. Before/After/効果を書く
2. AIの確認・修正の手間も含める
3. 連携・体制と、
   社内定着の取組を書く

作成Tips

1. 誰が・何を・どれだけの時間・人数で行うかを書く
2. 効果は時間・コスト・品質・安全性で示す
3. 例：10時間減、AI確認3時間→実質7時間減

各ページ作成のTips/留意事項（国産基盤モデル開発への貢献）

国産基盤モデル開発への貢献

ひな型

7.国産基盤モデル開発への貢献

活用した国産基盤モデル名	今回開発、実証した国産基盤モデル、海外モデルについてご記載ください

利用方法・選定理由	国産基盤モデル開発事業者へのフィードバック
利用方法、今後の活用可能性、モデルの選定理由を記載ください、（必ず）国産基盤モデルを採用しなかった場合は理由をご記載ください	国産基盤モデルを利用して良かった点、改善が必要な点、要望をご記載ください。 ※国産基盤モデル開発事業者に対し、共有可能な範囲で必要に応じ社名を伏せた上で共有いたします

審査項目：国産基盤モデルへの貢献

重要ポイント

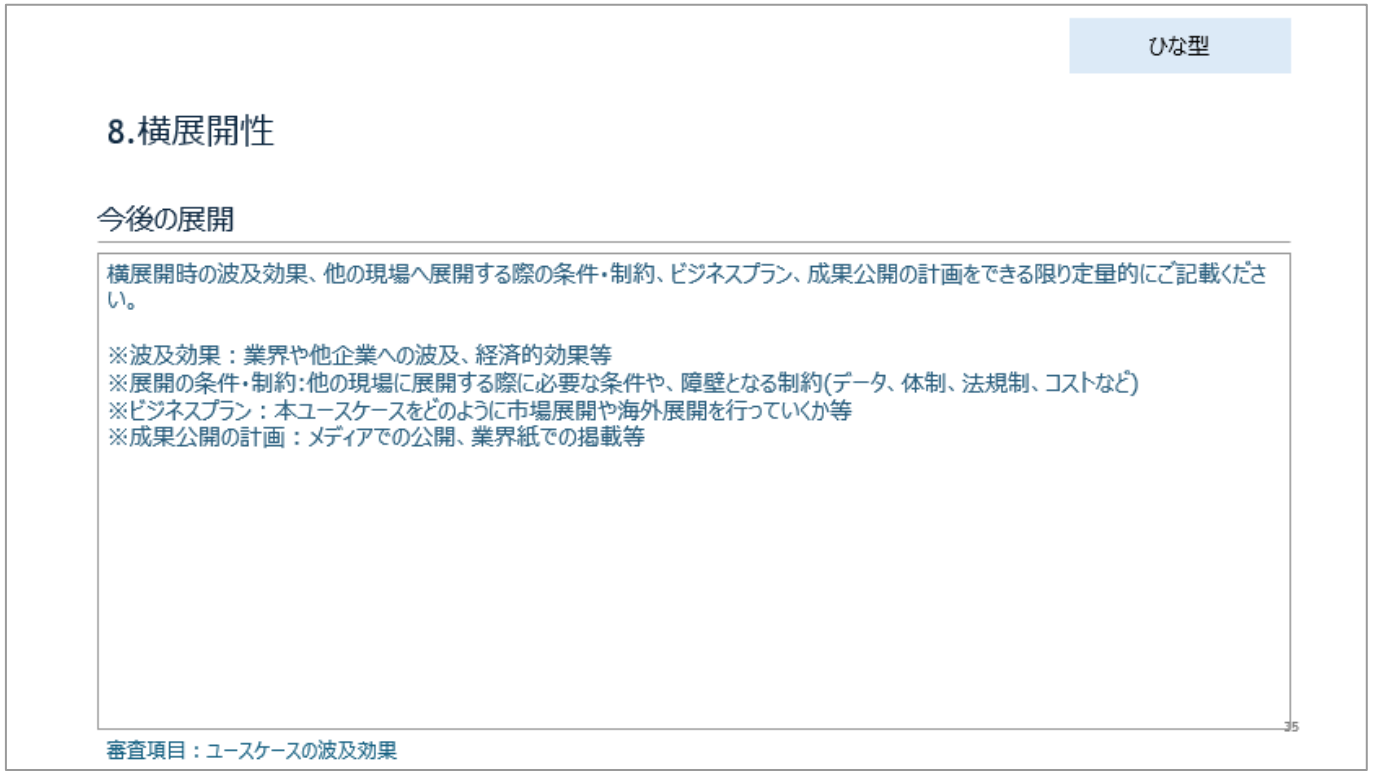
1. 活用した国産基盤モデル名を明記する
2. 活用しない場合は、不採用理由が必須
3. 選定理由と、開発事業者へのフィードバックを書く

作成Tips

1. 今後の活用可能性も書く
2. フィードバックは、良かった点・改善点・要望分ける
3. 希望すれば、社名を伏せて共有される

各ページ作成のTips/留意事項（横展開性）

横展開性


ひな型

8.横展開性

今後の展開

横展開時の波及効果、他の現場へ展開する際の条件・制約、ビジネスプラン、成果公開の計画をできる限り定量的にご記載ください。

※波及効果：業界や他企業への波及、経済的効果等
※展開の条件・制約:他の現場に展開する際に必要な条件や、障壁となる制約(データ、体制、法規制、コストなど)
※ビジネスプラン：本ユースケースをどのように市場展開や海外展開を行っていくか等
※成果公開の計画：メディアでの公開、業界紙での掲載等

35

審査項目：ユースケースの波及効果

重要ポイント

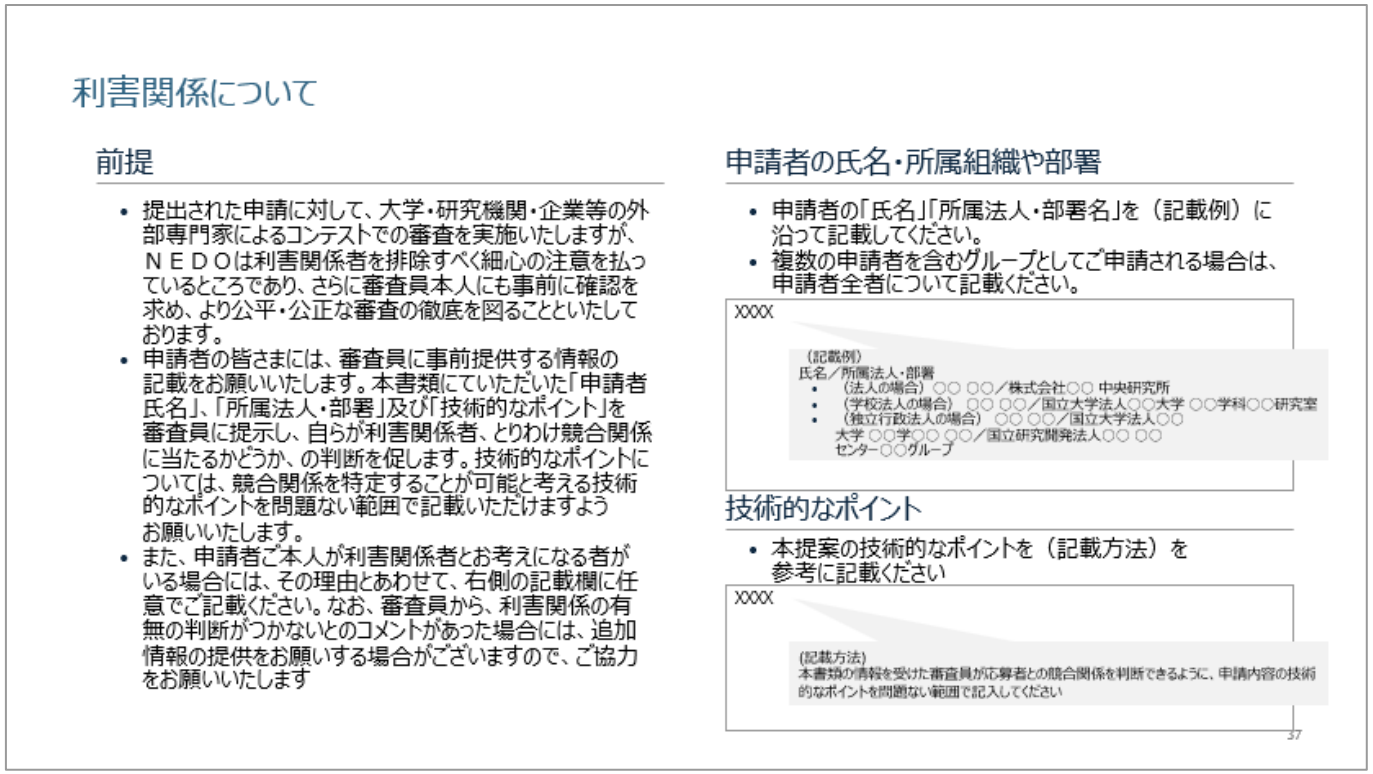
1. 審査項目はユースケースの波及効果
2. 波及効果・条件と制約・
   ビジネスプラン・
   成果公開の4点を書く
3. できる限り定量的に書く

作成Tips

1. 波及先の業界・企業と経済効果を示す
2. 障壁（データ・体制・法規制・コスト）も書く
3. 成果公開は、メディアや業界紙掲載などを書く

各ページ作成のTips/留意事項（利害関係確認）

利害関係確認



利害関係について

前提

- 提出された申請に対して、大学・研究機関・企業等の外部専門家によるコンテストでの審査を実施いたしますが、ＮＥＤＯは利害関係者を排除すべく細心の注意を払っているところであり、さらに審査員本人にも事前に確認を求め、より公平・公正な審査の徹底を図ることといたしております。
- 申請者の皆さまには、審査員に事前提供する情報の記載をお願いいたします。本書類にていただいた「申請者氏名」、「所属法人・部署」及び「技術的なポイント」を審査員に提示し、自らが利害関係者、とりわけ競合関係に当たるかどうか、の判断を促します。技術的なポイントについては、競合関係を特定することが可能と考える技術的なポイントを問題ない範囲で記載いただけますようお願いいたします。
- また、申請者ご本人が利害関係者とお考えになる者がいる場合には、その理由とあわせて、右側の記載欄に任意でご記載ください。なお、審査員から、利害関係の有無の判断がつかないとのコメントがあった場合には、追加情報の提供をお願いする場合がございますので、ご協力をお願いいたします

申請者の氏名・所属組織や部署

- 申請者の「氏名」「所属法人・部署名」を（記載例）に沿って記載してください。
- 複数の申請者を含むグループとしてご申請される場合は、申請者全者について記載ください。

XXXX

（記載例）
氏名／所属法人・部署
- （法人の場合）○○ ○○／株式会社○○ 中央研究所
- （学校法人の場合）○○ ○○／国立大学法人○○大学 ○○学科○○研究室
- （独立行政法人の場合）○○ ○○／国立大学法人○○
大学 ○○学○○ ○○／国立研究開発法人○○ ○○
センター○○グループ

技術的なポイント

- 本提案の技術的なポイントを（記載方法）を参考に記載ください

XXXX

（記載方法）
本書類の情報を受けた審査員が応募者との競合関係を判断できるように、申請内容の技術的なポイントを問題ない範囲で記入してください

37

重要ポイント

1. 氏名・所属法人・部署を書く
2. 複数申請は、申請者全員分を書く
3. 技術的なポイントを、問題ない範囲で書く

作成Tips

1. 所属は、記載例に沿って書く
2. 競合関係を判断できる程度に、技術面を書く
3. 機密情報は書かず、開示できる範囲にとどめる

デモ動画

デモ動画の構成・表現は**自由**です！



デモ動画の作成方法

1. 動画の長さは**3分以内**

※3分を超える場合、事務局にて
3分以降の部分をカットしたうえで、
審査員に共有します。

2. プロトタイプの機能・使い方を
実証の様子で示す

3. ファイル形式は**mp4**

留意事項

すべての提案書を細かく書くよりは、
各ページの必要事項を押さえ応募・提出することが何より重要です！

応募・提出しなければ、審査は始まりません



1. 気負わず記載する

記載例に縛られず、
自社の成果を踏まえ記載する



2. 全ページの必要事項を記入

各ページの記載内容をもとに
審査を行います。必要事項の
記載漏れがないよう、ご確認ください。



3. 必ず応募・提出する

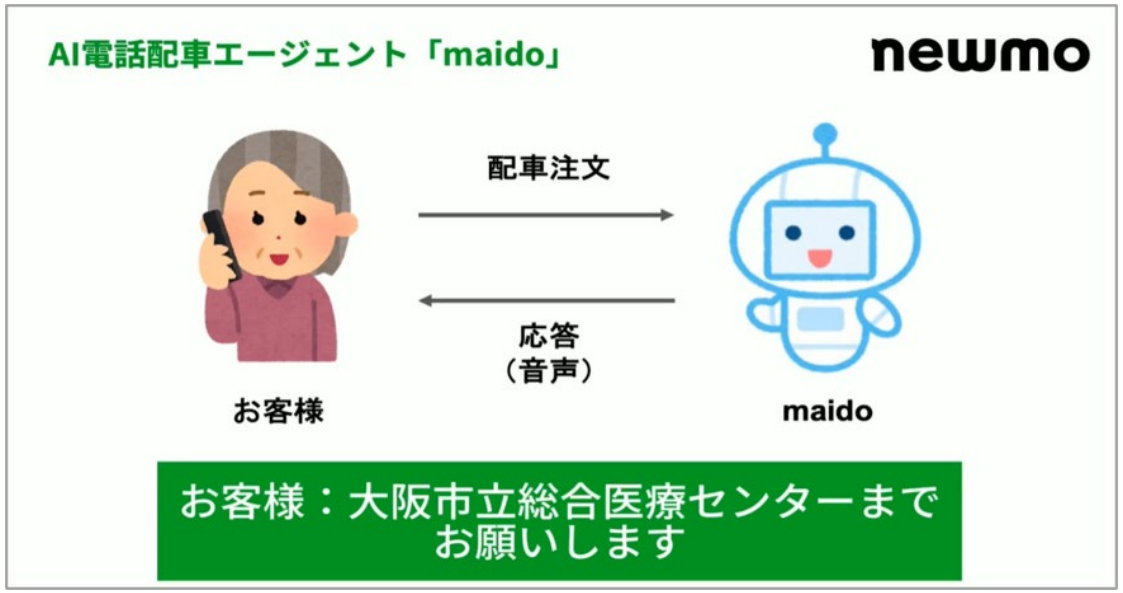
最も重要なのは提出することです。
迷わず、提出してください！

提出期限

1 提案書



2 デモ動画



1 提案書、2 デモ動画を**11月30日（月）昼12時まで**に、
事務局からご案内する提出先メールアドレス宛にご提出ください。

カタログ掲載について



昨年度成果発表
カタログはここから！

掲載のポイント

ご提出いただいた提案書を元に、
成果発表**カタログに掲載**する予定でございます。

- 提案書を元に記載するため、カタログは**原則修正不可**でございます。（応募者に確認せず掲載予定）
- やむを得ず、技術的に大きい乖離がある場合があり変更しなければならない場合、事務局にご連絡ください。

本日のアジェンダ

12:00-12:02　オープニング

12:02-12:10　本説明会趣旨のご説明

12:10-12:30　提案書のご説明

12:30-13:00　QA

本説明会のご案内　質疑応答について

下記QRコードを読み取っていただき、チャットでご質問ください！



ご質問は会の冒頭から受け付けております、匿名での質問も可能です

よくあるご質問と回答（1/23）



提案書の様式とページ数を教えてください。



提案書は2部構成です。ひな形（PowerPoint）に沿って作成してください。

- **Ⅰ. 公開用サマリー（1枚）**：対外公開されます
- **Ⅱ. 提案書（非公開・10枚）**：①サマリー ②課題設定 ③AIシステムの概要 ④技術の優位性（3頁） ⑤実証成果、導入効果・インパクト ⑥業務プロセス改革 ⑦国産基盤モデル開発への貢献 ⑧横展開性
- 非公開部分は、3枚まで新規にスライドを追加できます
- フォントサイズは10以上で作成してください
- ひな形は10月21日（水）にメールでご案内済みです。説明会のQRコードからもダウンロードできます

よくあるご質問と回答（2/23）



提案書の構成・フォーマットを変更してもよいですか。



基本は、ひな形の枠を埋める形式で記載してください。

- 枠の大きさや配置の変更、ページの追加までのアレンジにとどめてください
- 審査員は、ページに沿って審査します。構成を大きく変えると、審査の観点を読み取れなくなる可能性があります
- 各ページの見出しは、元の見出し（審査項目との対応）を残したうえで、追記できます

よくあるご質問と回答（3/23）



提案書のデザイン（色・フォント・ロゴ）を変更してもよいですか。



枠の色や配色など、デザインを貴社のブランドに合わせて変更して問題ありません。

- フォントサイズは、ひな形の指定（10以上）を守ってください
- ファイルが崩れないよう、フォントの埋め込みと、最新版のPowerPointでの作成をお勧めします
- 「公開用サマリー」は対外公開されます。公開してよい内容・表現でデザインしてください

よくあるご質問と回答（4/23）



ひな形で書き切れない場合、ページ数を増やしてもよいですか。



書き切れない項目がある場合は、非公開部分（Ⅱ．提案書）にスライドを3枚まで追加できます。

- 公開用サマリーは1枚です
- 総枚数（ひな形10枚＋追加3枚まで）を守ってください
- 総枚数を超えた場合は、後ろのページを削除する、または無効とする可能性があります

よくあるご質問と回答（5/23）

参考資料や補足資料を添付してもよいですか。

提出物は、提案書とデモ動画の2点です。

- 補足資料は、提案書の総枚数（ひな形10枚＋追加3枚まで）の範囲内に収めてください
- 総枚数を超えた場合は、後ろのページが削除される、または無効となる可能性があります
- 各スライドのタイトルへの追記は、総枚数の範囲内であれば問題ありません

よくあるご質問と回答（6/23）



空欄のページや、書けない項目があっても提出できますか。



全ページを記入して提出することが何より重要です。審査は各ページの情報を基に行われるため、空欄があると不合格となる恐れがあります。

- すべてを細かく書くより、全ページを埋めて期限までに提出してください
- 記載例に縛られず、自社の成果を踏まえて書いてください
- 目標に届かなくても、要因・対応・得られた知見を書けば加点要素になります（「実証成果、導入効果・インパクト」のページ）
- 迷わず提出してください。応募・提出がなければ、審査は始まりません

よくあるご質問と回答（7/23）



提案書はユーザー企業と開発企業のどちらの視点で書けばよいですか。開発企業が自社サービスを提供する場合はどう考えればよいですか。



今回はエッセンシャルサービス業における業務プロセス改革を重視するため、基本的にはユーザー（現場で業務を行う側）の視点で記載してください。

- 開発企業の技術的な強みも記載できますが、**現場の業務がどのように変わり、誰の負担がどれだけ軽減されるか**が分かるようにしてください。
- システム・サービス提供企業自身がユーザーの立場になる場合は、**自社がエッセンシャルサービス業に該当する理由**と、自社業務の改善効果を明確に示してください。

よくあるご質問と回答（8/23）

国産基盤モデルは、提案書のどこに、どう書けばよいですか。

「7. 国産基盤モデル開発への貢献」のページに記載してください。

- 今回開発・実証した国産基盤モデルと海外基盤モデル（任意）を、モデル名で明記します
- 利用方法、今後の活用可能性、選定理由を書きます。国産基盤モデルを活用しない場合は、比較検討した国産基盤モデルの不採用理由を必ず書いてください
- 良かった点・改善が必要な点・要望を、国産基盤モデル開発事業者へのフィードバックとして書きます
- フィードバックは開発事業者に共有します。応募者の希望があれば、社名を伏せて共有します

よくあるご質問と回答（9/23）



国産基盤モデルを一部の工程のみで使ったり、海外モデルと組み合わせたりしてもよいですか。最終的に海外モデルを採用しても審査対象になりますか。



はい。工程ごとに国産モデルと海外モデルを使い分けることは可能です。国産モデルの使用工程・比率について、一律の最低基準は設けられていません。

- ただし、開発・実証の過程では**国産基盤モデルを実際に活用**する必要があります。
- 最終的なシステムに海外モデルを採用することは可能です。その場合、**検討した国産モデルと採用しなかった理由**を提案書に記載してください。
- 国産基盤モデルを多く使っているかどうか自体は、**評価対象ではありません**。

よくあるご質問と回答（10/23）



本事業期間（7月）以前に実施した検証結果を、提案書の実証成果として記載してもよいですか。



はい、参考として記載いただいて構いません。ただし、指定の期間（7月～11月末）の内容が、審査の対象として見られることを前提にご検討ください。

- 事業期間以前に実施した検証結果をもとに、今回の開発・実証期間でさらに多角的な検証を進めた場合は、問題なく評価されます
- 既存の技術・システムをベースとした応募も可能です。ただし、事業期間内に実施した開発・実証の内容と成果を、提案書に具体的に示してください
- 判断は、11月末までに提出された内容で行います。最終審査で11月末からの差分を示せると、審査でプラスに働きます

よくあるご質問と回答（11/23）



実証の効果をまだ数値で確認できていない場合でも、提案書を提出できますか。



はい。定量的な効果を十分に測定できていない段階でも、応募・提出は可能です。

- ただし、**効果を数値で示した提案との比較が難しくなる**可能性があります。
- 現時点で確認できた事実、定性的な成果、検証方法、数値化できていない理由、**今後の測定方針**を具体的に示してください。

よくあるご質問と回答（12/23）



提案書のうち、外部に公開されるのはどの部分ですか。



Web上で公開されるのは、ひな形に「公開用 1枚」と記載されたスライドのみです。Ⅱ. 提案書の10枚は非公開で、審査に使用します。

- 公開用サマリーに、機密情報は書かないでください
- 成果発表カタログは、提出された提案書を元に作成します。**原則修正不可**で、応募者への事前確認なしで掲載する予定です
- やむを得ず、技術的に大きな乖離があって変更が必要な場合は、事務局へご連絡ください

よくあるご質問と回答（13/23）



実際の業務データや法人名を公開できない場合、公開用サマリーやデモ動画にサンプルデータを使ってもよいですか。



はい。見本データでも審査に必要な内容を十分に伝えられる場合は、サンプルデータを用いて構成して問題ありません。

- **実データを使った実証結果**と、説明用に作成したサンプル・再現データは区別して記載してください。
- 公開用サマリーには**機密情報を記載せず**、デモ動画でも公開・共有できる範囲の情報を使用してください。

よくあるご質問と回答（14/23）



デモ動画の条件を教えてください。



構成・表現は自由です。次の条件を守ってください。

- 長さは**3分以内**です。
- 3分を超える場合、事務局にて3分以降の部分をカットしたうえで、審査員に共有します。
- プロトタイプの機能・使い方が分かるように、実証の様子をまとめてください
- ファイル形式は**mp4**です

よくあるご質問と回答（15/23）



デモ動画の縦横比・ファイルサイズに指定はありますか。
容量が大きい場合、どのように提出すればよいですか。



動画は16:9の画面比率で作成してください。形式はmp4、長さは3分以内です。

- ファイルサイズの上限や容量の大きな動画の提出方法については、11/4説明会時点で具体的な指定はなく、**事務局から提出先・提出方法を別途メールでご案内**する予定です。
- 説明会では、詳細を**11月半ば**にメールでお知らせする旨をご案内しました。

よくあるご質問と回答（16/23）



デモ動画では、システムの使い方と実証の様子・結果のどちらを優先すべきですか。



どちらか一方を優先する決まりはありません。3分以内という時間の中で、伝えたい強みが分かる構成を自由に工夫してください。

- 審査員が**プロトタイプの機能・使い方と実証の状況**を理解できる内容をおすすめします。
- 動画に特有の審査項目・配点の詳細は公開していません。

よくあるご質問と回答（17/23）



デモ動画は、一般に公開されますか。



デモ動画は審査に使用するもので、特設サイト等で一般公開することは予定していません。

公開が必要になった場合は、事前にご連絡します。

よくあるご質問と回答（18/23）



提出期限と提出方法を教えてください。



11月30日（月）昼12時までに、提案書とデモ動画を提出してください。

- 事務局からご案内する提出先メールアドレス宛にご提出ください。
- 送付に不安がある場合は、数日の余裕を見ての提出をお勧めします
- 不明点は、事務局（geniac_prize@bcg.com）までメールでご連絡ください

よくあるご質問と回答（19/23）



提出期限前に提案書・デモ動画を送った場合、修正して再提出できますか。1次審査・2次審査の間にも更新できますか。



提出期限内（11月30日（月）昼12時まで）であれば、修正後の資料を再提出できます。

- 再提出する場合は、**修正版であること**が分かるようにして提出してください。
- **提出期限後**は、原則として1次審査・2次審査の間の差し替えを受け付けません。最終審査に進んだ場合は、ピッチで提出後の進捗・更新内容を説明できます。
- エントリー時から内容を改善・一部変更した場合も、応募要件を満たしていれば、その変更について事務局への**事前連絡は不要**です。

よくあるご質問と回答（20/23）



利害関係確認書には、何を書けばよいですか。



審査員が、利害関係（とくに競合関係）の有無を判断するための書類です。次の項目を記載してください。

- 申請者の「氏名」「所属法人・部署名」を、記載例に沿って書きます
- グループで申請する場合は、申請者全員分を書きます
- **技術的なポイント**を、競合関係を判断できる程度に、問題ない範囲で書きます（機密情報は書かないでください）
- 申請者本人が利害関係者と考える方がいる場合は、理由とあわせて任意で記載できます
- 審査員が判断できない場合は、追加情報の提供をお願いすることがあります

よくあるご質問と回答（21/23）



審査のスケジュールと、結果の発表時期を教えてください。



審査は3段階で実施します。

- **1次審査**（12月中旬～1月中旬）：提案書とデモ動画を審査します。通過者が2次審査へ進みます
- **2次審査**（1月中旬～2月中旬）：提案書とデモ動画を審査します。2月末頃に審査結果を発表し、通過者が最終審査へ進みます
- **最終審査**（3月29日）：ピッチ形式で実施し、同日の表彰式で受賞者が決定します

よくあるご質問と回答（22/23）



各審査の通過・不通過や、提出物の受領について、事務局から連絡はありますか。



はい。提出物については、事務局から受領のご連絡をする予定です。

- **各審査の通過・不通過**についても、審査終了後、準備ができ次第ご連絡します。
- 具体的な**結果通知日は現時点では確定していません**。

よくあるご質問と回答（23/23）



最終審査に進んだ場合、提出済みの提案書やデモ動画を更新して使えますか。



はい、問題ありません。

最終審査のプレゼンテーションでは、提出済みの提案書やデモ動画を更新して使えます。

- 開発進捗に伴い成果が更新された場合は、更新後の内容をご使用ください
- 1次審査・2次審査は、11月30日までに提出された提案書とデモ動画をもとに審査します

今後のお問合せ

GENIAC-PRIZE 運営事務局
までご連絡をお願い致します

geniac_prize@bcg.com

経済産業省、NEDOへの電話によるお問い合わせは受け付けておりません

出欠確認のため、
アンケートのご協力をお願いします

今後の事業設計の参考とさせていただきます
チャットボックスにて送付させていただくURL、
またはQRコードからご回答ください